

ーシェルターを出た後の生活はどうだった？

最初は、「やっと求めていた暮らしができる。」という気持ちばかりが大きかった。一人暮らしで、自分の居場所がある。シェルター生活で唯一気になっていた些細なルールも無くなり、嬉しさをいっぱいだった。でも、一人は寂しすぎた。

最初は眠れていたが、少しすると眠りが浅くなり、途中で起きることも増えた。食事もほとんど摂らなくなった。バイトも行けない。気持ちや体調に波があったから。

高卒資格をずっと取りたくて通信制高校に入学したのに、高校1年前期の途中で、「もういいか、今のまんまでいいわ。」となり、退学した。

ー入り直した高校を中退した後、どんな思いでどのような生活していた？

寂しさを埋めるのが第一優先になっていった。嫌なこと(親のネグレクト、男性からの暴言等)を思い出す時間も増え、その嫌な負のループが続いた。「環境はすごく良くなったのに、なんでこうなるんやろう。まだ、何も埋まらない感じがする。なぜ、満たされないんだろう。」と思っていた。その逃げ場が、男だった。それじゃだめだと何回も思ったが、そうでない次に行くのはすごく大変だった。

シェルターでは、親も彼氏もわだかまりなしに過ごせる、というのが嬉しかった。だから、落ち着いたと思っし、周りのおかげで、実際ポジティブだった。コタンをすごく急かして、1ヵ月余りでシェルターを退居して一人暮らしを始めた。でも、今思えば、そこまで気持ちが成長していなかったと思う。

コタンには言わなかった。退居を急かしたのにコタンに頼るのも違うと思っし、「だから、言ったやん。」「結局、こうなるよな。」と自分を責めてしまう。シェルターに居る時には、なんでいけた気になったのかな、あれだけしんどかったのに短期間でいけるようになるわけがない。自分が悪いと思うから、人に頼ろうと思えない。

親のことも、ずっと切れていたのに結局気になり、気持ちがズドンと落ちる。

不安になったり寂しくなったら元カレのところへ戻り、別れては戻るを繰り返していた。男は下心がわかりやすく、深く聞いたり変な詮索をしてくない。こちら、下心がわかるから変な気遣いもない。

友達といても、過去に似た光景がかぶると、楽しく遊んでもテンションが一気に下がる。友達から、どうしたのと聞かれるが、言にくいし、説明するほどのことでもないと思っし、言わない。

いろいろうまくいかないのは、何か特別な出来事があったわけではなく、過去のことが思い出されて、気持ちが落ち込みそれに引きずられるから。「何回やってるの」と、自分で自分が嫌になる。「ただ、居てほしいねん。」と誰にも言えなかった。

ー男への依存は、ずっと？どうやって依存しなくなったの？

自分にしたいことがあり、しないといけないことがあるときは、男に走らずにいれた。弱っている時、都合のいい時に、うまいことくれる言葉があると、自分にはそれが必要って思うから。「もう振り回されたくない。」というのが大きかった。それと、「ここまで、コタンが環境を整えてくれたのに。」という思いがずっとあった。最後は、その2つだった。

ー最近の自分は、どう？

自分の中で変化もあった。昔、暴言がひどかったけど、怒ることが減ってきてだんだん無くなってきた。今は環境も変わり、気に病むことが無くなった。今までの家族(親)は、もういい。家族へのあこがれが強かった。子どもができて、人に頼ることもうまくしないといけないと強く思った。遠すぎると言にくいので、兄の近くに住むという選択をして実行した。妊娠・出産し、疑われないでいい家族を、自分の家族として大事にしようと思った。その分、頑張ろうと思っし。



… 理事長ご挨拶 …

日中は暑さを感じるほどの短い秋を過ごしたかと思うと、イルミネーションで街が華やぐ季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

いつも子どもセンターぬっくへのご支援、ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。さて、子どもセンターぬっくは、12月1日、堺市に自立援助ホーム「Ma-Co」(まこ)を開設しました。おおむね15歳から20歳の男子を対象としたホームで、経験豊富な5名のスタッフが子どもたちの生活を見守り、自立に向けてサポートします。

これまで、居場所のない男子に関する相談が入った場合、他団体へ繋ぐことにより対応してきましたが、「いずれはぬっくでも男子の居場所を持ちたい」という思いがありました。この度、堺市や地域の皆様のご理解とご協力によってその思いが実現したことは、とても喜ばしく、感謝の気持ちでいっぱいです。

これまでとはまた違った悩みや課題に直面することもあるかと思いますが、子どもをまん中に置き、運営委員、スタッフ、コタンが一丸となってその成長を支えます。皆様におかれましては、子どもセンターぬっくの新たな取り組みを見守っていただき、今後とも温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

理事長 玉野まりこ

たくさんのご支援 ありがとうございます!

ご寄付等くださった方(敬称略、順不同) 2023.2.1~2023.9.30

黒川裕子、宝本美穂、宮崎誠司、松原薫子、郡山恵里子、川本美香、山縣文治、金丸英俊、長谷川民子、久保田康愛、植西智雄、河内山淳子、奥村健、朝川修師、太平信恵、音田貢、平野恵穂・由美子、藤田怜、中畑卓明、喜多寿美、松井千恵子、米津加代子、島田妙子、中山利加、齋藤直美、柴田泰宏、杉村徹、岡本勝美、中川雄太、齊藤正実、鈴木資子、石津文乃、沖亜記、内藤千賀、鍋倉義明、矢口敬子、橋本伸明、平内さくら、村上周、上川和子、鷺尾早苗、大森順子、松本八千代、渡邊徹、山本文代、坂本哲、大井仁美、仲岡優子、黒澤公子、松本友子、Reuse&Charityshop Rui+ 青野まどか、てるうさファーム&キッチン・山地史高、蟠龍寺・太田竜祐、諸福不動尊祐照寺・古川真照、千里寺・武田大信、浄長寺・川上玄有、株式会社BIRCH・高橋光基、大阪ホームサービス株式会社・穴見孔治、株式会社数強塾・藤原進之介、チャリティショップめぐりもの・大野通子、フロンティア勉強会、日証協こどもサポート証券ネット、認定NPO法人おてらおやつくらぶ、株式会社カブコン、一般財団法人H2Oサンタ、株式会社LIFULL、大阪弁護士会子育てネット有志、東大阪ロータリークラブ、大阪西ライオンズクラブ、公益財団法人さずな育英基金、公益財団法人毎日新聞大阪社会事業団、町屋くらぶ、国際ソロプチミスト大阪・梅田、社会福祉法人大阪府共同募金会

～応援会員(旧マンスリーサポーター)は37名です。継続的なご支援に感謝します～ 他29名

… ご支援のお願い …

ぬっく会員募集	現金・物品寄付	ぬっく応援会員
正会員 入会金 5,000円 年会費 5,000円	若者向けのもの/ お箸/マグカップ/ お米/お菓子等	毎月500円～ 月1回自動決済
賛助会員 個人1口 3,000円 (年会費) 法人1口 10,000円		

入会金・会費・ご寄付の
振込先

三菱UFJ銀行 梅田新道支店 普通預金 0206469
特定非営利活動法人子どもセンターぬっく

ゆうちょ銀行 ○九九店 当座預金 0208341
特定非営利活動法人子どもセンターぬっく

お問い合わせ

会費納入・ご寄付は
下記QRまで



スタッフの声

子どもたちが
作りました。



私が子どもたちと関わっていくなかで一番感じることは、子どもたちは自分の気持ちや感情を“言葉にして話す”ことが苦手なのではないかということです。表面上ではやけに物分かりがよく平気そうに見えても、よくよく話を聞いていると、実はいろんなことに恐怖し、我慢していたのだと気付かされることがあります。本音を言ってしまうと嫌われてしまうのではないかと、ダメな人間だと思われるのではないかなど、様々な不安と葛藤していたことが見えてきます。しかし関わっていくうちに、あからさまに不機嫌な様子を見せたり、いつも楽しそうに話していた子が急に無視をしたりと、“自分”を出す瞬間があります。そのたびに私は「急になぜ？」と不安になると同時に“本当のあなた”と対話できているのかもしれないと嬉しくも思います。

対話は単に発する言葉だけではありません。反応をしない、物に当たる、不穏な空気感、その全てが彼女らが発している一つの表現であり、言葉だと思います。それを受けとめ大切にしていきたいと思いながら、日々支援をしています。

(ハウススタッフ K)

私は初めての対人援助職なので、子どもたちとの関わり方や他機関の方々との連携に、これで良かったかな？どうしたらよかったかな？これは伝えないといけないことだったのか！と毎日が勉強です。自立という視点と寄り添うという視点では、接し方が変わってくるのでとても難しいなど、働いてみて感じています。

そんな中でも、外で刺激を受けて帰宅した子、家で悶々としながら過ごした子、それぞれが一日の中で少しでも笑顔になれるよう、日々元気に出勤することは意識して取り組んでいます。今まで1人で抱えて耐えて戦ってきた子どもたちがふっと力を抜いて、ありのままの笑顔を見せてくれると、安心できているんだなあと感じます。そして私もまたその笑顔に救われています。

日々共に過ごす中で、三歩下がっても一歩進めたその一歩に、私はとても刺激を受けます。

私が子どもたちから学ぶことも沢山あるなと感じています。

これからも、子どもたちひとりひとりを尊敬し、尊重する気持ちは常に持っていたいと思います。そして子どもたちと一緒に喜怒哀楽しながら、共に成長していきたいなと思っています。子どもたちがRe-Coに来て、少しでもありのままの自分でいれるように、これからも子どもたちの1番近くで見守り続けていきたいです。

私自身も元気で居続けられるように、休日はいっぱい遊んでリフレッシュします！

(Re-Coスタッフ A)

子どもシェルターに参加しました
全国ネットワーク会議

9月30日及び10月1日に、広島にて2023年度子どもシェルター全国ネットワーク会議が開催され、玉野理事長はじめ、ぬっくからは合計6名が参加しました。4年ぶりの現地開催で、大いに刺激を受けました。ホームページの「お知らせ」でも報告していますので、ご覧ください。



ボランティアさん からのメッセージ

昨年2月から週1回くらいのペースで食事づくりをしています。二階にあるキッチンには子ども、スタッフ、ボランティアいろんな人が使いやすいようにいつも気持ちよく片付いていて、「さあ、つくるぞ！」という気持ちになります。

冷蔵庫のドアには、今ぬっくハウスにいる子どもたちの好みやアレルギーが書いた紙が、側面には食事の献立記録表が貼られていて、それらを見て冷蔵庫を開き調理を始めます。

リビングでテレビを見たりごろごろしたり、部屋で過ごしている子どもたちにスタッフが声をかけ、お昼ごはんは12時頃に、晩ごはんは18時半ころから食卓を囲みます。(時には部屋食の子も)

スマホが使えなかったり自由に外出できなかったり、必ずしも気が合うとは限らない子と一緒に過ごすなど、ぬっくハウスには不自由さもあります。ここにやってきた頃の、苛立ちとか不安とかあるのかなという様子が、次の週その次の週には、その子自身の声で食卓を賑わせ、それを聞きながらの食事の時間はやっぱりいいものです。(そんな時ばかりではないですが)

初めて来た時からずっと思っているのは、スタッフさんが、今ここに子どもたち一人ひとりを大切に、ちょうどいい距離感で信頼できるおとなとしてここにいることがすごいし、子どもたちの力(希望)になっているな~ってことです。

「子どもの最善の利益」そんな言葉が浮かび、わたしの持ち場でできることは何かを考えさせられます。

(ボランティア Kさん)

ボランティアさん
おいしいご飯



ボランティアさん
募集中

ホームページで
ボランティア養成
講座(オンライン)を
ご案内しています。



ぬっく活動カレンダー

2023.3~2023.9

- 2023.3 ... 大阪市男女いきいき財団ニュースVol.46に、同財団のサポートを受けて実施している就労体験について記事掲載
- 2023.5.15 ... 兵庫少年友の会総会で「子ども(少年)の気持ちに寄り添う難しさとやりがい~子どもシェルター・自立援助ホームの取組から~」をテーマに講演
- 2023.5.29 ... 吹田市の市民セミナー「[子どもの貧困]はこども基本法でどう変わる? -地域のサポートについて考える」で講演
- 2023.6.17 ... 第22回児童虐待防止協会総会記念フォーラムで「子どもシェルターを知っていますか -高齢児童虐待と自立支援-」をテーマに講演
- 2023.6.21 ... 令和5年度大阪府立学校養護教諭研究会総会で「10代の子どもたちと虐待~子どもセンターぬっくの取組と学校との連携~」をテーマに講演
- 2023.7.21 ... 関西テレビ「LIVEコネクト!」の電話取材に対応